

(仮訳)

プレスリリース

海兵隊太平洋基地

プレスリリース 21-002
日付：2021年9月9日

海兵隊太平洋基地による、沖縄における全ての水性膜泡消火薬剤 (AFFF) の除去について

海兵隊太平洋基地、沖縄、日本一 海兵隊太平洋基地（MCIPAC）は、沖縄に所在する全ての海兵隊基地及び施設において残存していた水性膜泡消火薬剤（AFFF）の除去を完了した。これは、残存していた AFFF の大部分が位置していた普天間飛行場を含むものである。高い値の PFOS 及び PFOA を含む残存していた AFFF については、日本政府により認証された施設で焼却処理されるため、本州に輸送された。それらの [AFFF] は、国防総省の要求を満たし、火災の際には引き続き同様の生命救助の効果を発揮する新しい泡消火剤に交換された。当該取り組みは、PFOS 及び PFOA によりもたらされる、沖縄における環境上のリスクを著しく低減させると共に、MCIPAC の透明性及び環境管理に対する強いコミットメントを改めて強固に示すものである。